

第14回さいたま子ども短歌賞応募票

※三首まで応募できますが、入賞は一人一首です。

③

②

①

短歌の基本は「五七五七七」だけで、「字あまり」「字だらけ」でも大丈夫・大きな字ではつきり書いてね!!

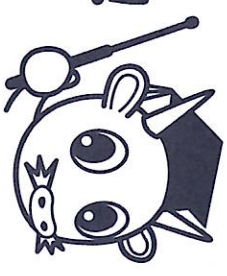
■ 学校名、学年、組

学校名	市立	学校	学年	組
-----	----	----	----	---

■ 氏名(ふりがな)

氏名

※この応募票は A4 サイズのまま、拡大・縮小せずに提出してください。



3つのステップで短歌を詠んでみよう！

?短歌ってどんなもの？

こころ うご けいき できごと
心を動かされる景色や出来事などを、五・七・五・七・七の三十一文字で言い表した詩です。

【例：声に出して読んでみよう】

「寒いね」と 話しかければ 「寒いね」と 答える人の いるあたにかさ (俵 万智『サラタ記念日』より)

STEP 1 テーマを決めよう

どんなことを短歌にしたいか考えてみよう。
自分の好きなことや、楽しかったこと、感動したことなど、自由に選んでみてね。

テーマの例

- ・学校でのできごと
- ・家族、友達
- ・好きなスポーツ
- ・動物、植物
- ・行ってみたい場所
- ・夏休みの思い出
- ・将来の夢
- ・景色、風景

STEP 2 つながりのある言葉を書き出そう

決めたテーマから思いつく言葉を、たくさん書いてみよう。
このときは、文字の数は気にしないで、頭にうかんだ言葉をたくさん書こう。

STEP 3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2で集めた言葉を組み合わせ、
「五・七・五・七・七」に当てはめてみよう。
でき上がったら、声に出して読んでみるといいよ。

※字余り（文字数が多いこと）・字足らず（文字数が少ないこと）でも大丈夫！
伝えたいことが表現できるように、いろいろな言葉を試してみてね。

上級者のあなたへ いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう！

- ① 比喩（たとえる）
【例】「雪」の比喩⇒「白い綿のような雪」
- ② 体言止め（最後が名詞で終わる）
【例】「空が青い」の体言止め⇒「青い空」
- ③ 対句（同じ構成の語を並べる）
【例】おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に
- ④ 擬音語・擬態語（音や様子を表す）
【例】わくわく、どんより、ガタン、もりもり
- ⑤ 漢字とひらがなの使い分け（あえてひらがなを使うと、やわらかい印象になるよ）